

2023年度メリー★ポピンズ 北千住ルーム事業報告書 (保育所における自己評価)

1. 2023年度の概要 ～年度の基本方針を受けて～

1 日課や基本活動を大切にしていく。

① 日課・基本保育活動

さくらんぼリズムでは子どもたち一人ひとりが楽しさを感じながら体を動かす姿があった。雑巾掛けでは日が経つにつれ自分たちで雑巾絞りをを行う、バケツやたらいの準備を行うなど自分たちでできることが増えてきた。

月齢や発達に応じた活動場所や活動内容の設定により、一人ひとりがのびのびと活動を選択し生活する姿があった。

② 食の循環・環境への意識を育む環境教育の実践

調理スタッフを中心に調理前の野菜くずを利用したコンポストの活用。連携園と共同で野菜の栽培、収穫、クッキング活動を行うことで畑作業への興味関心を深めることができた。

2 幼児期を見て知り、逆算した保育を行う。

連携園のスタッフや園児と定期的な交流を行った。園児は大人数への慣れや新しい場所を経験することで進級への意欲が高まった。保育スタッフは進級先の園を見ることや連携園の施設長や主任に相談したり考えを聞いたりすることで生活習慣や成長を見越し逆算した保育実践を行おうとする姿があった。

3 職員一人ひとりのスキル向上を目指す。

園内会議や研修を通して一人ひとりが考えを発表したり実践したりする機会が増えた。

4 開かれた施設、温かみのある雰囲気づくりを行う。

一時保育希望者をはじめ、地域の子育て世代の方たちへの施設広報を継続的に行った。親子で施設に遊びに来たり散歩先まで同行し共に遊んだりと気軽に立ち寄って下さる方が増えた。

〈1〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	0歳から2歳児までの発達段階の理解を深め、養護と教育の一体性を意識し、清潔で安心安全な場の充実を図っていく。
	実践結果	一人ひとりの発達発育に応じた保育の実践が行えた。 園児一人ひとりが安心して過ごせる保育環境を整えられた。
	次年度方向性	定期的な保育環境の設定や育ちについて理解を深め、多様な面から個々への関わりを工夫していく。
2	計画・ねらい	楽しいをとことん追求し、日々変化しつづけ、成長を一緒に楽しめる保育の質の向上に努めていく。
	実践結果	子どもたちが感じる楽しさや不思議さを引き出し共感しながら保育を行えた。子どもたちの外への興味関心が深まった。

	次年度方向性	ポートフォリオの作成を行い保護者への発信を広めていく。子どもの興味関心や成長の喜びを保護者と共有していく。
3	計画・ねらい	子ども一人ひとりにあった生活リズムの中で、くつろぎ安心できる時間・空間・関りが保障されることを大切にしていく。
	実践結果	発達に応じた環境・関りを定期的に考え、温かい目線・関り・雰囲気はどう作られるのかを日々試行錯誤し子ども一人ひとりと向き合っていく事ができた。
	次年度方向性	職員一人ひとりの役割をよく考え、連携しながら落ち着いて丁寧に関わりを持てる雰囲気を作り、保育者自身が温かく思いやりあふれる関りを意識し応答的な関りをより意識していく。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	専門性を生かした支援とともに的確な相談をしやすい職員の雰囲気づくりに努め、保護者とのコミュニケーションを大切にしていく。
	実践結果	お迎え時の際に子どもの様子を丁寧に伝え、心地よい会話、関わり話しやすい雰囲気づくりを行った。また、成長や発達を共有し喜びを共有・共感していく事ができた。
	次年度方向性	一人ひとりの丁寧に子どもたちの育ちや姿を丁寧に伝え保護者との信頼関係を深めること大事にしながらも、保護者の立場に立って思いやりや心配りを忘れずに臨機応変に対応できるようにしていく
2	計画・ねらい	0・1歳児の食の支援を行い悩みや相談、専門知識の発信を行う中で、食の営む力を育てていく。
	実践結果	離乳食の作り方や進め方の発信、家庭での食の悩みを一緒に共有し前向きに導いていけるよう機会を作っていく事ができた。
	次年度方向性	定期的な離乳食や家庭での食事での困りごと等を日頃の会話から保護者の方に負担なく成長段階と共にスムーズに進めてけるように今後も専門知識を高めていく。
3	計画・ねらい	子育ての喜びを共有し、相互に理解し合える信頼関係を築いていく。
	実践結果	タイムラインやアルバムでの子どもの育ちや様子を、丁寧に質の高いものにし発信する意味を職員一人ひとりが意識を高め、楽しいものにしていく事ができた。
	次年度方向性	わかりやすい子どもの姿の写真の記録をさらに工夫し、保護者へより子どもの育ちや発達を理解し、一緒に子育てを楽しめる雰囲気づくりに努めていく。

〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	地域と密な関係性をもち、互いに協力し合える開けた場としての機能に努める。
	実践結果	施設長が在籍している日は玄関のカギを開錠したり扉を開けたりすることで地域の方たちが気軽に立ち寄る日があった。

	次年度方向性	園児不在の際には散歩の行き先などを入り口に掲示し見える化し交流が深まるよう努める。
2	計画・ねらい	子育てに悩みや不安を抱えている地域の方にも、開かれた園となるように機会をつくる。
	実践結果	青空保育や戸外活動時に積極的に声をかけ一緒に過ごしたり施設宣伝をしたりし、気軽に立ち寄れるようにした。
	次年度方向性	青空保育・子育てサロンが定着し地域の方が安定して気軽に立ち寄れる場の工夫をする。
3	計画・ねらい	地域の方との連携や交流を大事にし、ともに支え合う園となるように機会を作る。
	実践結果	団地内の季節行事に参加。（七夕飾り作成）どろんこまつりの宣伝を行うことで地域の方たちとの交流の場を作ることができた。
	次年度方向性	日ノ出町団地の交流をさらに深め横のつながりを太くしていく事で、より日ノ出町団地の活性化に努めていく。

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	自ら学びたいと思う向上心を持ち、スタッフ一人ひとりが目標に向かって努力していく。
	実践結果	研修に参加する日時の確保が難しく参加頻度は少なかったが、参加したスタッフからの伝達講習を行うなど意欲的な姿があった。
	次年度方向性	学ぶ意欲をさらに高め積極的に受講し、保育現場への実践やスタッフ間でアウトプットする場を設けていく。
2	計画・ねらい	視野を広げ、報告連絡相談が密に行われ、風通しの良い同僚性や雰囲気を作る。
	実践結果	保育について意見を求めたり出したりする姿があった。自分たちで内容をまとめ保育環境の設定や実践につなげる姿があった。
	次年度方向性	話し合いをする機会や時間を定期的に作り、コミュニケーションをとっていく。様々な視点から意見を言い合える同僚性を気づけるよう、職員一人ひとりの保育や価値観を伝え合える機会を作る。
3	計画・ねらい	子どもに携わる職員全員が様々な視点から意見を出し合い、よりよい充実した保育を作るために、互いに刺激し合い向上していける人間性豊かな職員を育成していく。職員の小さな気づきや発見、思いを大事にしていく。
	実践結果	保育についての話し合いと実践へのバランスが不安定であった。十分に話し合いができた際にはこまめな環境設定や子どもへの関わりを
	次年度方向性	一人ひとりが研修に取り組む時間や機会を設けることで視野や保育観を広げ豊かな知識と学びを持てる機会を増やしていく。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	北千住どろんこ保育園、つむぎ北千住ルーム、地域の方との連携を密に行う。様々な大人や友だちと関わる中であそびを知り、関係を深め親しみを
---	--------	--

		もっていく。
	実践結果	北千住どろんこ保育園の園児と畑活動や散歩先を一緒に行うことで定期的な交流や合同保育を行うことができた。子ども同士で仲間意識が芽生えたり顔見知りになったりすることができた。
	次年度方向性	北千住どろんこ保育園、つむぎ北千住ルームとの継続的な連携をさらに深め子ども同士に限らずスタッフ間の交流を深め地域全体の保育の質の活性化を図る。
2	計画・ねらい	畑活動の充実と一つでも多くの経験と学びにつなげていく。
	実践結果	土や泥をはじめ色水など様々なものに触れる機会を十分に設け、一人ひとりが触れてみたいタイミングで挑戦できた。 畑作業では堆肥作りに挑戦、徐々に硬さや形状が変わっていく堆肥に直に触れたり匂いを感じたりする姿があった。
	次年度方向性	北千住どろんこ保育園と計画的に畑作業の充実化を図る。堆肥作りでは現地の他に園内作成に挑戦する。
3	計画・ねらい	本物の環境や様々な経験ができる環境を整えていく。
	実践結果	戸外活動では荒川の土手の斜面や広場を存分に活用し体を目いっぱい動かして遊んだり土などの自然物に触れたりして活動ができた。歩くことが苦手な児も自然への興味関心を深め積極的に戸外に出ようとする姿があった。
	次年度方向性	保育者が様々な名称や道具の使い方を知り子どもたちの手本になりながら楽しさを発見し活動の幅を広げていく。

〈6〉大人も子どもも全力で遊びを楽しむ保育の充実

1	計画・ねらい	センス・オブ・ワンダーを目標にスタッフ自身が様々な感性をのびのび表現できる場を作っていく。
	実践結果	スタッフ自身の経験の幅を広げていく機会の確保があまりできなかった。
	次年度方向性	子どもたちの『はじめて』に対する喜びや不思議さなどの様々な声に敏感になり引き出していく。
2	計画・ねらい	大人が率先してあそび、背中を見せ一緒に行う。
	実践結果	芝滑りや戸外活動を率先して楽しむ姿があり子どもたちも遊び方を工夫するような姿があった。
	次年度方向性	どんな遊びでも常に面白さを発見し子どもたちと共感できるよう同じ目線に立ち遊びを深めていく。

〈7〉豊かな心を育てる

1	計画・ねらい	自分自身を認めてもらうことで安心して過ごせる園をつくる。
	実践結果	適度な距離感で子どもたちを見守り自信を持って自ら行動できるような関わりを行った。
	次年度方向性	見守る保育の意味を理解し、言葉かけや関わり方を日々試行錯誤する。児一人ひとりが自信をもって意欲的に活動ができるような関わりを行う。
2	計画・ねらい	インクルーシブ保育の知識を深めていく。
	実践結果	一人ひとりの特性や個性に着目し必要に応じた支援や関わりをスタッフ間で話し合い実践する姿が増えた。
	次年度方向性	誰もが自分らしく、頼り合い、ぶつかり合い、大きな家の家族として過ごせる環境づくりにスタッフの連携や発達状況の理解をさらに深めていく。

2. 施設運営

〈1〉児童利用状況

月極利用児童受託状況（延べ人数）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
年度前半： 4~9月	5人	5人	5人				15人
年度後半： 10~3月	5人	5人	5人				15人

延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
うち0 歳児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

（解説）

一時保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	0人	1人	4人	10人	14人	7人	6人	4人	4人	4人	4人	2人	60人

うち0 歳児	0人	0人	2人	9人	12人	7人	6人	4人	4人	4人	4人	4人	56人
-----------	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(解説)

〈2〉開所時間

7時30分～18時30分

〈3〉スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	2人	看護師	0人	栄養士	0人	調理員等	1人
パート スタッフ	保育士	2人	補助	0人	調理	0人	事務	0人

3. 運営報告

〈1〉施設内会議

会議名	実施回数	会議内容
園会議	月1回 ※2,3月は策 定会議にて 実施	・コンピテンシー ・保育の質向上に関わる勉強会 ・園児状況共有 ・園内研修
給食運営会議	月1回	アレルギー献立、離乳食進捗状況
事故防止委員会	月1回	・ヒヤリハット・事故報告書の分析
ケース会議	月1回	該当なし

〈2〉出席した施設外会議 (Web 参加含む)

会議名	実施回数	参加スタッフ
施設長会議／法人本部	月1回	施設長
施設長勉強会／法人本部	月1回	施設長
食育会議／法人本部	年4回 (5.7.11.2月/5.8.11.2月)	施設長 調理スタッフ

保健会議／法人本部	年4回 (5.7.11.2月/5.8.11.2月)	施設長
主任会議／法人本部	該当なし	該当なし
子育ての質を上げる会議	月1回	保育士

〈3〉 係の設置状況

係名	活動の様子・省察
衛生管理係	こまめな消毒・清掃を分担し丁寧に行っていた。
安全対策係	定期的な点検や非常食の補充等を行った。
防火管理者	定期的な点検を行い防火管理に努めることができた
食品衛生管理係	チェック漏れがないように毎日声掛けをして、意識を高めた。
畑係	定期的な畑の管理や設備を整えられるよう努めた。北千住どろんこ保育園との連携を図った。
生き物係	カニの飼育や蝶の飼育を行い、日課となるよう努めた。

〈4〉 行事係の設置状況

係名	活動の様子・省察
どろんこ祭り係	保護者のご協力のもと、地域の方も一緒に楽しめる行事企画となった。
子育てサロン	地域子育てに貢献し、より身近に園に足を運んでもらえる機会を作りたい。

4. 保育支援

〈1〉 保育・保育参加・保護者面談および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ではなく月齢や発達の理解を深め必要に応じた活動や散歩先、保育環境の設定を行った。 ・0.1.2歳児の発達の中で興味関心を引き出し、見守る保育を大事にしていくことができた。
----	---

	・0歳児の離乳食の進め方や保護者にとっての良いアドバイスを職員全員で共通理解していった。
保育参加	4～3月まで 合計2名 が参加済み (3月1日時点) ・保護者の負担なく、育ちの共通理解や安心して園生活を行っている姿を真近に感じていただく機会となった。
保護者面談および発達相談	4～3月まで 合計0名 が参加済み (3月1日時点) ・
運営委員会	運営委員会を6月16日11月17日にメリー★ポピンズ 北千住ルームを会場にて実施し、参加した保護者4名 詳細は議事録に記載

〈2〉 計画した年間行事の振返り

- ・別紙「2023年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉 給食・食育に関する実践結果

1	計画・ねらい	楽しい雰囲気の中で様々な食材に興味関心を持てるように素材の味を活かし一人ひとりが満足できる食事の時間を創る。
	実践結果	一人ひとりが自分の好きなタイミングで給食を食べるリズムが定着してきた。会話を楽しみながら食材への興味関心をもつ姿が増えた。
	次年度方向性	食の大切さ、命をいただく意味をより深く考え、子ども達にわかりやすく保育に組み込んでいけるように、職員一人ひとりが知識を深めていく。
2	計画・ねらい	全職員が食事に携わり、食事の時間を大事にしながら発達段階・口腔発達を共通理解し食事の仕方を身に着けていく。
	実践結果	保育者も共に食事をとることで食への興味関心を深めつつ、苦手な食材にも挑戦しようとするような姿が増えてきた。
	次年度方向性	今後も家庭と密に連携をとりながら安心して負担なく離乳食の時期の育ちを確かめ合いながら丁寧に進めていく。
3	計画・ねらい	食の循環を意識し、無駄のない食の環境づくりを考える。
	実践結果	コンポストの活用、調理前の野菜くずを用いた、堆肥作りを計画的に行ったが湿度管理や温度管理が難しく改良の余地がある。
	次年度方向性	北千住どろんこ保育園と連携を深め土作りから行う野菜の栽培、収穫、調理、食事の流れを身近なものとする。

〈4〉保健に関する実施結果

実施項目	詳細
園児健康診断	6月28日／12月19日に実施
歯科検診	該当なし
保健だより	毎月25日におたより配信を実施
スタッフ健康診断	年1回実施
スタッフ検便	毎月1回（全スタッフ対象）
その他実施した園児への保健指導、又は、取組等	11月 メリー★ポピンズ北千住ルームを会場に手洗いうがい指導を行った。 2月 メリー★ポピンズ北千住ルームを会場に鼻かみ指導を行った。
流行した感染症	該当なし
発作・痙攣等の対応	該当なし
エピペン使用できるスタッフの状況	・3月23日にメリー★ポピンズ北千住ルーム会場にスタッフ3名が受講し習得済み
AED 使用できるスタッフの状況（AED 設置施設のみ）	該当なし
その他保健に関する取組	嘔吐処理・おむつ交換手順の周知

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	6・12月の25日に実施済み
	避難消火訓練	毎月1回／15日に計12回実施済み
	不審者侵入訓練	6・12月の25日に実施済み
	情報セキュリティチェック	5月・11月に実施済み
	誤飲・誤嚥防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	フロン点検（簡易）	対象物の簡易点検4・7・10・1月の25日に計4回実施

	衛生管理点検表／毎日	毎日実施
衛生管理	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日に計12回実施済み
	個人衛生点検簿／毎日	毎日実施
	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	4月1日、10月1日に実施済み
健康管理	身長体重測定	毎月1回／20日 実施済み
	児童健康診断	内科健診 各年2回／6月28日、12月19日
	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
運営管理	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間 実施済み
	利用者アンケート調査	8月25日～9月5日に実施済み

〈6〉実施した環境整備の状況

1	計画・ねらい	子ども達自らが選択し主体で遊び始める環境を整える。
	実践結果	ゾーン保育について保育者間で話し合いをし、定期的な保育環境を設定する姿が見られるようになってきた。
	次年度方向性	ゾーン保育の理解を深め、全職員がより良い環境になるように意見を出し合い、試行錯誤をしながら改善点を見つけ常に豊かな環境を設定していく。
2	計画・ねらい	四季の身近な事象に親しみ、興味関心を深めていく。
	実践結果	自然に親しむ経験を大切にしたい。一人ひとりの気づきや発見を大事にし、主体的に関り興味や探求心を深めていく事ができた。
	次年度方向性	季節ならではの遊びや飾りつけ、環境設定を行い乳児でも親しみやすい温かい雰囲気四季の良さをさらに感じていけるようにする。
3	計画・ねらい	身近な人と関わり安心して心地よく過ごしていく。
	実践結果	定期的な掃除、整理整頓を心掛け、必要なものだけがある心地よい環境を整えていく事ができた。
	次年度方向性	整理整頓の維持や継続を行い、常に誰が来ても心地よい園であるように仕組みづくりを職員全体で考えていく。

〈7〉手作り遊具・家具安全点検結果

該当なし

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践結果	非常災害時の対策として、毎月消防計画に基づいた避難訓練や消火訓練を行った。
2	実践結果	子どもたちの命を守るため及び大惨事に備えて保護者との連絡ツールとしてうちのコアプリ閲覧を要請行った。
3	実践結果	年2回の不審者侵入訓練実施・年2回の発電機稼働テスト実施。スタッフ同士で再確認することができた。
4	実践結果	安全マニュアルを2か月毎に実施し、チェックリストと共に確認し、保育者との周知に努めていく事ができた。
5	実践結果	事故防止自主点検を年4回実施し再確認していく事ができた。

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度の振返り

実習生 1 名受け入れ。小規模保育園ならではの子ども一人ひとりと密に関われる丁寧な保育の良さ、発達や成長に応じて活動場所や活動内容の選定をしていくことの大切さを伝え、感じられた。

〈2〉実習生の受入

日程	学校名	人数	実習内容
11月13～27日	総合学園ヒューマンアカデミー チャイルドケアカレッジ	1人	責任実習

〈3〉中高生の受入

今年度、受入れなし

7. スタッフ研修

〈1〉園内研修の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンピテンシ ー自己採点	21日 6名	12日 6名	9日 5名	14日 6名	18日 5名	15日 5名	13日 5名	10日 6名	15日 6名	12日 6名	16日 6名	22日 6名

〈2〉外部研修への出席

該当なし

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修 (子育ての質を上げる会議)	18日 1名	16日 1名	20日 1名	19日 1名	22日 1名	19日 1名	17日 1名	21日 1名	19日 1名	16日 1名	13日 1名	19日 1名
施設長勉強会	18日 1名	16日 1名	20日 1名	19日 1名	22日 1名	19日 1名	17日 1名	21日 1名	19日 1名	16日 1名	13日 1名	19日 1名
全社員研修	10月に動画視聴にて研修を実施(全スタッフ対象)											
リーダー養成研修	該当なし											
デモンクインターンシップ	該当なし											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝えた。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をした。

8. 地域交流

〈1〉今年度方針・テーマの振り返り

感染症が流行していない期間は日の出町団の方をどろんこまつりにお招きしたり、団地の七夕行事に参加したりと地域の方たちとの交流の幅が広がった。また、散歩先で知り合った子育て世代の方や一時保育の申し込みに来られた方へ園庭開放や施設利用の宣伝を行うことで平日に親子で遊びに来られる機会がかなり増えた。

〈2〉実施した地域交流

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：千住旭公園にて
商店街ツアー	週1回 主な行き先：花伸、北千住駅、西口商店街、東口商店街、学生通り、東口交番等
世代間交流	6月27日メリー★ポピンズ 北千住ルームを会場にて絵本の読み聞かせを実施
異年齢交流	10月以降月に1回北千住どろんこ保育園との定期的な交流
その他活動	6月16日に荒川の干潟にてカニ採りを実施
銭湯でお風呂の日	該当なし

9. 小学校との子ども間交流・職員間交流

〈1〉今年度の振り返り

該当なし

10. 要支援児

〈1〉個別支援計画の作成・見直しの状況

該当見なし

〈2〉進級引継、および小学校への引継状況

北千住どろんこ保育園と定期的

11. 子育て支援事業

今年度の子育て支援事業・イベント・子育て相談・青空保育を含む延べ来園者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6名	12名	13名	40名	4名	18名	4名	8名	6名	18名	29名	5名	163名

実施項目	詳細																									
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 にて実施																									
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30 ⇒計0件相談実施済み																									
自然食堂 親子ランチ 交流	毎週(水) 10:00～12:00 ⇒計回実施済み																									
	参加者延べ人数																									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
どろんこ 芸術学校 どろんこ 自然学校	毎週(水) 10:00～12:00 ⇒計回実施済み																									
	参加者延べ人数																									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00 にて実施 門扉前に無人のフリーマーケットかごを設置																									
ちきんえっ ぐだより	毎月1日発行																									
青空保育 (支援セン ター主催)	月1回 公園名：千住旭公園にて 以下日程にて実施																									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	0名	0名	2名	7名	0名	0名	0名	0名	6名	0名	0名	0名	15名
	0名	0名	2名	7名	0名	0名	0名	0名	6名	0名	0名	0名	15名													

12. 園運営の向上

今年度受審なし

〈3〉園による自己評価の実施

2023年12月21日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施済み。

自己評価開始時刻：8時30分

自己評価終了時刻：17時30分

自己評価実施者：佐々木、鈴木、宮下、今村、宮越

〈4〉利用者アンケートの実施

施設利用 保護者に対し、アンケートを実施

アンケート配布日：8月25日

アンケート回収率：100%

お迎え対応時の待ち時間や保護者同士の順番の管理の提案を頂いた。気持ちの良いお迎え対応と待たされた感があまり出ないようなお迎え対応の工夫をしていく。

13. 苦情解決・ケガのうち報告すべき事項

ご意見ご提案デスク（HP・メール・電話）、口頭・書面・連絡帳・ご意見ご提案ボックスによって寄せられた全ての意見・要望・苦情について、原則、「苦情対応体制」に従い、法人として解決を図る。以下、報告すべきご意見・ケガに関しては次の通りとなる。

〈1〉 報告すべきご意見

報告すべきご意見 0件

〈2〉 報告すべきケガ（事故含む）

報告すべきケガ（事故含む） 0件

※なお、報告書内の3月度の数値結果に関しては、すべて見込みの数値となっている。

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 北千住ルーム 施設長 佐々木俊彦